



自動運転システムとスマートシティ

電波発信機を、道路の両側もしくは、中央に設置し、自動車や、スマートフォンにおける認識とソフトウェアにおける解析を行い、自動運転システムの構築を行う。これらは個別、位置データと店舗情報などをソフトウェアにおいて認識し、クラウドサーバーからの情報データの収集などにおいて、自動運転システムとナビゲーションの連動性における自動運転環境を構築する。

これらは既存道路上への発信機の設置における自動運転システムの構築を行うものであり。これらは、自動車や、バイク、自転車やスマートフォンにおける同様の発信機と発信環境において、次世代交通システムの構築を実現するものである。

これらは次世代スマートシティの基幹システムとして、次世代交通と通信基盤におけるスマートシティを構築する。

ナビゲーションシステムとスマートマネー

次期 ETC 規格におけるスマートマネーサービスと自己 ID 認識環境は、自動車において、ドライブスルーや自己認識サービスを、社会において整備する。これは駐車場において、自己データの補足と店舗との共有など、新しい可能性を提示するものである。

ナビゲーションにおける映像と音楽、IoT ラジオ、テレビ電話などは、フロントミラーへの照射やディスプレイにおける新しいナビゲーションサービスを提供できるものである。

新しいビジネス環境

スマートビルディングとスマートオフィス、全てのデジタル化における新しいビジネス環境は次世代における新しい基準として存在する。

これらはデジタル化した自己認証とともに、全てのデジタルサービスが、スマートビジネスを展開するものであり、スマートマネーとともに、新しいビジネス環境を構築できるものである。

ビル内部での本人認証は、デジタルパスポートがスマートシティにおいて同じように、認証



とスマートマネーを提供し、全てのデジタル化された環境への参加を与えるものである。

またビル内部において配送ロボットにおける輸送は、デジタル認証とともに、その可能性を与えるものである。

デジタルパスポート

自己認証と IoT、スマートホーム、スマートシティ、スマートビジネスにおける共有の ID とスマートマネーは、カードとスマートフォンにおけるサービスを提案するものである。これらは銀行口座とクレジットカードの登録におけるスマートマネーサービスを付随するものである。

デジタルマップ

店舗データの表示など、ID とスマートマネーにおけるアクセスは、デジタルマップサービスが既存の地図情報に限定されず、全ての IT サービスを統合し、その可能性を提案することができる。

スマートホーム

音声 IT アシスタントにおけるデジタル家電のコントロールと IoT における映像、音楽サービス、住宅データのテレビにおける管理と行政サービスの IT における受信と参加など新しいライフスタイルを提案する。

これらは全てのデジタル化における新しい社会と生活への転換であり、行政と産業、大学の連携における新しい社会への転換を実現するもので有る。

これらは自国産業の育成が最後の機会において存在することであり、これらは政治の明確なコンセンサスとともに、国家の転換と新しい現実基盤を創造するもので有る。